

平成 29 年度長野県図書館協会定期総会議事録

13:30開会

1 開会

阿部智史 常務理事・県立長野図書館企画協力課長

2 あいさつ 牛山圭吾 会長

今年は公共図書館関係では、秋に木曾町に新図書館がオープンすると聞いている。また、県内各地では、住民の課題を解決する図書館活動が盛んに進められている。読書ボランティア団体も400余を超え読書活動も活発である。

学校や生涯学習の現場で大きな関心を寄せられているのが、平成30年から施行される新学習指導要領に向けた中央教育審議会の答申内容の「アクティブ・ラーニング」である。

この新しい教育の視点は情報基盤社会に対応する「自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果等を表現し、更に実践に活かしていけるような生きる力を育む」ことです。最近「主体的、対話的で深い学び」と呼んでいますが、一方的な講義形式の授業から「児童生徒が協力し合って課題を発見すること」や「友達と十分話し合ったり交流したりして自分の考えを創出すること」などの主体的で協働的な態度で探究し、表現、実践に活かしていくことがより求められる。

この新しい学習方法は、学校や公共図書館を利活用した学習が実践されなければ成果は望めない。

学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議の「これからの学校図書館の整備充実について」の報告の中でも①学校図書館ガイドライン②学校司書のモデルカリキュラム③学校図書館整備充実など学校図書館の積極的な取り組みを促している。

11月には、この新しい新方向に向けての北信越学校図書館研究大会が長野市で開催される。多くの県民の皆さんが参加して下さって成果を共有し、長野県の子どもの読む力と学ぶ力を伸ばしていただきたいと希望する。

3 総会成立の確認 阿部県立長野図書館企画協力課長

総会は長野県図書館協会会則第19条により総会出席資格者の10分の1以上の出席により成立となる本日の出席者数が39名、委任状提出が636名で合計675名、会員総数709名の10分の1を満たし、総会は成立することを報告。

4 議長選出

事務局案として松本市立菅野小学校長の小沢智子校長を提案、拍手多数をもって選出された。

5 議事

(1) 第1号議案「平成28年度事業報告」及び第2号議案「平成28年度歳入歳出決算報告」

議長から一括して上程、宮下副会長及び和田小中学校図書館部会長から報告。

湯原監事から、適正に処理されていた旨の監査報告。

質疑なく第1号議案及び第2号議案は、拍手をもって承認された。

(2) 第3号議案 「役員を選出」

宮下副会長から提案

今年度は2年任期である役員の交替の年度にあたる。

長年、会長を務められてきた牛山圭吾氏が本日をもって退任したい意向であること、新会長には宮下副会長、副会長には学校関係の代表として林尚江氏、公共図書館関係の代表として伊東直登氏、事務局長に常務理事の阿部県立長野図書館企画協力課長を提案したい。その他理事長以下監事までを役員(案)名簿で読み上げる。

質疑・意見なく第3号議案は拍手をもって承認された。

議長に促され第3号議案を持って退任された牛山前会長から退任のあいさつ。

(牛山前会長あいさつ)

今まで図書館協会長を10年間、学校図書館分会の幹事や支部長・委員を含めると30年ほど協会にお世話になった。お役に立てないことばかりであったが、協会の新しい芽や風が吹いてきたので、ここで会長を退任する。今後は一会員としてお役に立ちたい。長い間のご支援とご協力に感謝する。

ここで議長から提案があり長野県図書館協会会則で協会に顧問を置くことができること、牛山前会長には引き続き顧問の立場から長野県の図書館振興のためにご助言をいただきたい、出席者の拍手で承認いただきたい旨の発言。拍手をもって承認された。

次に新役員の紹介で、宮下新会長から就任のあいさつがあった。副会長の林氏・伊東氏が役員席へ移動した。

(宮下新会長あいさつ)

会長就任にあたり3点、申し述べたい。

1点目は長野県図書館協会は他県図書館協会と異なり、小中学校図書館、公共図書館、大学図書館の各部会からなる横断的組織であり、関係機関との連携を含めてその特色を十分に生かすことが大事であること。2点目は図書館のミッションは自立支援であるということ。学校においては子どもたちが図書館を利用して情報取得・情報活用能力を身につけることは重要なことであり、公共図書館でのブックスタートは乳幼児・児童支援であり、デイジー図書の製作は障がい者の自立支援である、上田情報ライブラリーが行う創業支援は地域振興につながることで、これらを確認しておきたい。3点目は図書館協会の役割として研修事業の充実、図書館同士を含めた関係機関の連携、先駆的事業に取り組み、先進事例を提供していきたいと考えている。これらの推進のために新役員のみなさん、各部会や、県立図書館などの協力をいただきながら運営してまいりたい。

議長から会長以外の新役員を読み上げて、よろしくお願ひしますとの言葉があった。

(3) 第4号議案「H29年度事業計画(案)」及び第5号議案「平成29年度歳入歳出予算(案)」

阿部事務局長、鈴木公共図書館部会長、和田小中学校図書館部会長から提案説明。

第4号議案 平成29年度事業計画案 P10、片山善博氏の肩書を慶應義塾大学から早稲田大学へ、第5号議案 H29年度歳入歳出予算(案) P14 歳出科目 高校協議会費 50,000円を0円、予備費 3,000円を 53,000円に訂正したい旨説明。

議長が質疑・意見を求めたところ、

会員から第4号議案について、「国際子ども図書館・国立博物館見学ツアー」に国立国会図書館を見学先に加えること、第5号議案について、歳出のうちその他負担金補助の合計額が13,000円になる事の訂正説明がなかった旨発言があった。

阿部事務局長から第4号議案については提案について検討すること、第5号議案については発言のとおり訂正する旨回答。

その他に質疑・意見がなかったので議長が承認を求めたところ拍手をもって承認された。

(4) 第6号議案 平成30年度(第68回)長野県図書館大会

提案：阿部事務局長から図書館協会上伊那支部内で調整した結果、駒ヶ根市で開催していただけることとなった旨説明。議長が質疑を求めたが意見等はなく、承認を求めたところ拍手をもって承認された。

6 議長退任

7 その他 なし

8 閉会(平賀理事長)

長年、会長を務められた牛山圭吾さんが退任され、本日の総会で宮下新会長はじめ新しい体制となりました。宮下新会長から、図書館のミッションは「自立支援」だという話がありましたが、再確認しながら県下の公共図書館、学校図書館、大学図書館のより充実した運営を目指して参りたい。本日は大変お疲れ様でした。

14:45分閉会